

# 夏期セミナー案内

## 「勉強と知能因子」

勉強と知能因子の関係は密接で、知能が育ってくると勉強は凄くはかどります。一方、いっぱい勉強したからといって知能が向上するかといえば、その補償はありません。勉強で養われる知能因子は限られるからです。小学校3年生ぐらいから急に学校の勉強内容が理解できなくなると言われていますね。よく言う「9歳の壁」です。これは急に9歳からできなくなるわけではありません。この頃から論理性や抽象思考を要求される課題が増えてくるためなのです。その部分の知能因子の刺激がそれまでに出来ていなかったことが露呈する現象なのです。低学年の勉強が認知と記憶中心になっているのは仕方がないにしても、丸暗記で済まされてしまうとしたら気の毒な話です。

ここで例をひとつ。九九は全部言えるのですが文章題になると時々間違える2年生の話です。「8人の子がマンガ本を2さつずつ持っています。マンガ本は全部で何さつですか。」と言う間に「10？」自信なさげです。そこで、よく分からない原因を探ってみました。(1) 文章は読めても内容がハッキリしない。知能因子で言えば「概念の体系を認知する(CMS)」が弱い。(2) 九九を言えても2数をかける意味がわからない。つまり「記号の体系を記憶する(MSS)」ことはできても「記号の関係を認知する(CSR)」や「記号の見通しを認知する(CSI)」がたぶん苦手。では、似たような問題をたくさん与えれば良いのでしょうか。結論を言えば、上手いかないでしょう。苦手なことばかりやらされて嫌になっては元も子もありません。ここは遠回りでも、まず苦手な知能因子を刺激する必要があります。

(1) に対しては「文章お絵かき」で遊びました。「たこ焼き屋さんの店先にお客さんが6人並んでいます。」の絵を描き終えたところで「みんなで何人並んでいますか？」と尋ねると「7人」「え、どうして」「だって、たこ焼き屋さんがいるから。」と答えました(^\_^)。どうやらCMSは大丈夫そうです。(2)の解決として、楽しんで頭を働かしてくれる教材はないかと思い「掛け算図示ゲーム」で遊びました。初めは苦労しましたが興味を持って続けることができました。

子どもが何かの問題に行き詰まっているときは「がんばれ」と励ますことも大切ですが、それ以上に大切なことは、解決する能力の正体、それがどんな知能因子を構成しているのかを知って対応することなのです。前述の子の場合、「文章お絵かき」と「掛け算図示ゲーム」実施後、出来なかった問題をもう一度解いてもらいましたが、今度は自信を持って答えを出せるようになりました。

## 国語と算数領域の 学習能力コース

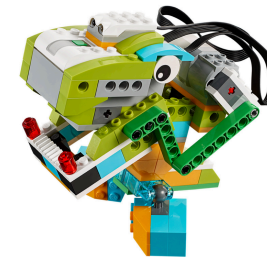
学校がお休みになる夏の期間に、国語や算数といった勉強に関連した知能因子を集中的に訓練するセミナーを開催します。因子が複合してきますので、普段のレッスンのような知能因子の提示はありませんが、多くは学習能力の言語思考と数理思考の領域から選ばれています。幼稚園児、保育園児のお子さんには、ひらがな・数字などの基礎学力はもちろんのこと、幅広い分野にふれながら将来を見据えた思考力・学びへの意欲など幅広い力を養います。

## 創造性を刺激する プレイフルプロジェクト

初めての参加で不安な場合は、お子さんの興味の方向などを伺って対応します。作品などは持ち帰れませんが、終了後に写真をとっていただくことは可能です。このコースは午後13時以降の開催になります。課題は、幼児・小学生それぞれ複数用意していますので、複数日の受講も可能です。



小学生から  
ピアノ機構を学ぼう。簡単な打鍵機構を組み立て音を出そう。自動演奏ができるよう工夫します。



小学生から  
恐竜を作ってプログラミングで動かそう。声も出せるよ。ダンスしながら歌わせることも可能だよ。



幼児から  
お客さんに楽しんでもらえる乗り物の設計をし、ブロックで作ります。

日 程／前期 7月27日～8月7日 後期 8月18日～31日

開催時間／午前 10時30分から11時50分 (80分)

午後 12時30分から13時50分 (80分)

(年少児は午後の50分) 少人数制で実施

対象年齢／年少児から中学生まで (レゴは年中児から)

費用／4,400円 (内税) 在籍児 4,000円 (内税)

日によっては午後2時以降のクラスがある場合があります。

午前午後を通して受講する場合、お弁当を持たせてください。